三重県尾鷲市

おわせＳＥＡモデル構想推進事業

発電所跡地から始まる脱炭素社会の実現！！

尾鷲市では、2018年に廃止となった中部電力尾鷲三田火力発電所跡地（63万4千㎡）を活用し、「Ｓ（市民サービス・集客交流人口の増加）」・「Ｅ（エネルギー）」・「Ａ（アクア・アグリ）」連携による「おわせＳＥＡモデル構想」の実現に向け取り組んでいます。

また、2022年3月1日には、「22世紀に向けたサスティナブルシティ」実現に向けて、「尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

「おわせＳＥＡモデル構想」で本市は、「Ｓ（市民サービス・集客交流人口の増加）」において、地域の資源（海・山・川・歴史的遺産（世界遺産熊野古道）など）を活用するとともに、集客交流人口の拡大に向け、多目的スポーツフィールド整備事業をはじめ持続可能な具体的事業の構築・推進に向けて取り組んでいます。

少子・高齢化、過疎化に悩む本市の事業実現に向け、皆さまのご支援をお願いします。

【お問合せはこちらまで!】
尾鷲市役所　政策調整課
電話番号：0597-23-8134　メールアドレス：sechosei@city.owase.lg.jp